

このノートの使い方

家の人と災害が起こったときのことを話し合おう

はじめに

平成23年に発生した東日本大震災では、大地震や大津波におそわれて、たくさんの方がなくなりました。その一方で、防災教育を受けていた子どもたちはすばやくにげて、自分の命を守ることができました。

地震や風水害などの自然災害から自分の命を守る方法を知っておくことは、いざというときにあわてることなく、避難することができるので、とても大切なことです。

この「まつど防災ノート」は、災害が起こったときに、みんなが助かることができるよう、自分で考え書きこむようになっています。家族といっしょに使ってください。



考えよう!

では

災害が起こったときにどんなきけんがあるのか、どんな備えが必要なのかを考えて書いてみましょう。



行動しよう!

では

災害が起こったときにどのように避難すれば身の安全を確保することができるのか、身のきけんからにげる方法を学びましょう。

もくじ

このノートの使い方	1
このノートのページ案内	2
災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板サービスの使い方	3
教室にいるときに大地震が起こったら	4
教室の外にいるときに大地震が起こったら	6
登下校中などに大地震が起こったら	8
津波が来る! どうしたらいいの?	11
家にいるときに大地震が起こったら	12
大雨の日、どんなきけんがあるの?	16
家で火事が起こったらどうする?	18
松戸市の避難所を確認してみよう!	20
松戸市避難所一覧	24
避難地図をかいてみよう!	25
身のまわりで起こりそうな災害は何だろう?	26
総合防災訓練って何?	27
避難所生活って何?	28
災害に備えて準備しておこう!	29
わが家の防災メモ/災害時の約束	裏表紙

登下校中などに大地震が起こったら

考えよう!

登下校中や外にいるとき、大地震が起こったらどんなきけんがあるでしょうか。外でも「落ちてくるもの」「動いてくるもの」「たおれてくるもの」があります。それぞれのきけんにあてはまるものを考えてみましょう。



落ちてくるもの

動いてくるもの

たおれてくるもの

話し合おう!

大人の自前で子どもに向けてアドバイスをお願いします

答え

いくつわかったかな? 自分の答えと比べて、きけんなどを確かめておきましょう。



- 落ちてくるもの
- かわら ●ガラス ●信号機
 - かん板 ●切れた電線
 - クーラー ●植木ばち など

- 動いてくるもの
- かん板 ●自動車
 - 自転車 ●バイク
 - など

- たおれてくるもの
- 電柱 ●自動販売機 ●ブロックべい
 - 案内板 ●家 ●お店 ●自転車
 - バイク など

行動しよう!

覚えよう!

かばんなどを持ってれば、それで頭を守り、できるだけ低い姿勢をしましょう。できる限り建物や自動販売機などからはなれ、上からのものが落ちてきたり、たおれてきたりしない位置で、ゆれがおさまるのを待ちましょう。

覚えよう!

話し合おう!

登下校中などに地震が起こったときも、避難の仕方や自分の身の守り方は学校にいるときと同じです。「落ちてこない、動いてこない、たおれてこない」場所へにげるのが大切です。

覚えよう!

話し合おう!

緊急地震速報って何ですか。聞こえたらどうするの? 強いゆれが来る前にテレビやラジオ、防災行政無線で知らせる警報のことをいいます。速報が出てから大きくゆれるまでの間は数秒から数十秒しかないので、強いゆれが来ると直ぐのときは、きけんではないところで身の安全を守りましょう。



覚えよう!

では

災害が起こったときにとるべき行動や方法など、覚えておくと、いざというときに役に立つ内容が書いてあります。



話し合おう!

では

災害が起こったときに自分の命を守ることにつながることを、家族と話し合ひましょう。